

NATOカタログ制度

防衛装備庁

目次

1. NATOカタログ制度と日本	3
2. NATOカタログ制度の目的・原則	4
3. NATO物品番号 – NSN	5
4. NATOカタログ制度のデータベース – NMCRL	6 - 7
5. NMCRL – データ登録状況・利用者	8
6. NMCRL – 諸外国の産業界における活用例	9 - 11
7. NMCRLの契約について	12
8. NCAGE – NATO製造者記号	13
9. NCAGE – 【参考】米国との契約に至るまでのステップ	14

1. NATOカタログ制度と日本



NATOカタログ

1950年代
NATOカタログ制度
(NATO Codification
System : NCS) 創設

1992年～
データベース「NMCRL」の運用開始



※NATO支援調達庁 (NSPA)
がカタログ制度を管理



防衛省カタログ

1962年～
「防衛庁カタログ」運営

2011年
NATOカタログ制度
にTier1※1として参画

2020年
NATOカタログ制度
のTier2※2に昇格

我が国独自のカタログを作成
自衛隊の任務遂行に必要な装備品等を維持・
管理し、使用可能な状態に保つため、品目名を
定め、独自の物品番号を付与

NATO物品番号を使用
できるようにすることで、調達の効率化を
目指す

防衛省カタログの内容
をNATOカタログに移
管するよう取組中

※1 Tier1 : NATOカタログに登録された品目を閲覧することが可能

※2 Tier2 : NATOカタログに登録された品目を閲覧することに加え、NATOカタログに品目を登録することが可能

2. NATOカタログ制度の目的・原則

NCSの目的

- 補給の共通言語を確立する
- 相互運用・相互互換を可能にする
- 在庫の重複を抑えることで補給に係るコストを削減する
- データ管理を容易にし、必要な在庫数の管理を支援する

NCSの原則

- 1つの補給品目に1つのNSNを付与する
- 設計管理権限を保有する組織又は個人(the design control authority)が所在する国のNCBが責任をもって類別する

NCB : National Codification Bureau (国家類別局)

※日本では、**防衛装備庁**が担任

3. NATO物品番号 – NSN (NATO Stock Number)

類別 : Codification

NATOカタログ制度の原則 : 1つの補給品目 = 1つのNSN

調達実績のある製品



SONY – part No. ABC



PHILLIPS – part No. 123



TESLA – part No. A214



OSRAM – part No. y18p

補

給

品

分類番号 国別番号 識別番号

6240 – 30 – 123 – 4567



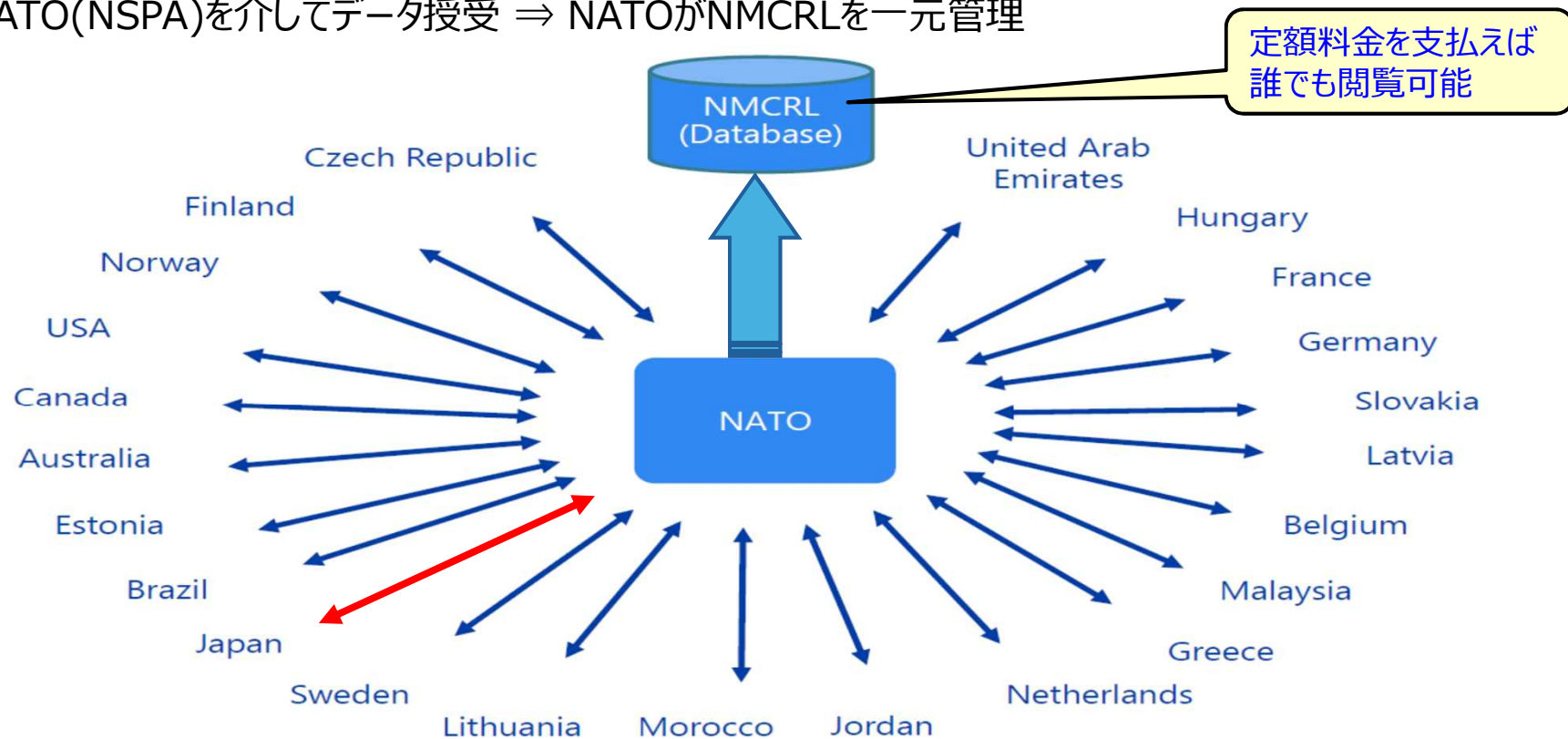
製造者が異なっても、同等の性能（この場合ワット数や口金の形状等）であり相互に取り換えが可能な場合

⇒同じNSNが付与される

4-1 NATOカタログ制度のデータベースーNMCRL

(NATO Master Catalogue of References for Logistics)

- NSN等のデータ登録は、製品を取得後に各国の国家類別局が実施している
- NSN等のデータ登録はユーザ国が責任をもって実施し、データ登録のための類別作業は設計管理権限を保有する組織又は個人が所在する国が実施する
 - ◎ ユーザ国製の製品はユーザ国が自国で類別作業 → ユーザ国がデータ登録
 - ◎ 他国から輸入した製品は当該国に類別作業を依頼 → 当該国が登録
- NATO(NSPA)を介してデータ授受 ⇒ NATOがNMCRLを一元管理



4-2 NATOカタログ制度のデータベース - NMCRL (NATO Master Catalogue of References for Logistics)

NMCRLにおけるNSN検索画面の一例

NATO Stock Number (NSN)

6230-00-163-1856

NATO指定品目名 (懐中電灯)

00729 - FLASHLIGHT

ユーザー国

Registered Users: ARE, AUS, BRA, CAN, DEU, DNK, ESP, FIN, FRA, GBR, GRC, ISR, ITA, JOR, KOR, MYS, NOR, NSP, NZL, POL

NCAGE	Reference number	RNSC	RNCC	RNVC	DAC	RNFC	RNJC	RNAAC	Proc.	Image
58536 - FEDERAL COMMERCIAL...	A-A-1974	B	5	9	4	4		USA	NP	
U4207 - SURVITEC SERVICE & DI...	E/N39	D	5	2	4	1		GBR	PP	
094BB - GAUZON IBERICA SL	PE-001631856	A	5	2	3	4		ESP	P	
81348 - FEDERAL SPECIFICATIO...	W-F-00421	B	5	9	3	1		USA	NP	
A486G - NIMIKKEISTOKESKUS ...	10150116	B	6	9	9	4		FIN	NP	
82214 - UNION CARBIDE CORP ...	1259	D	5	2	5	1		USA	PP	
64067 - SOURCEAMERICA	6230-00-163-1856	D	3	2	3	4		USA	PP	
80063 - US ARMY COMMUNICA...	71-3187	D	3	1	5	1		USA	PP	
24617 - GENERAL MOTORS CORP	928572	D	3	1	5	1		USA	PP	
73331 - GENERAL MOTORS CO...	928572	D	3	1	5	1		USA	PP	

細部特性など

製造者記号 (NCAGE) および企業名

製造企業における部品番号

Decoded Characteristics

- NAME - ITEM NAME
- FLASHLIGHT
- ABFE - HAZARDOUS LOCATIONS/ENVIRONMENTAL PROTECTION
- WATERTIGHT
- ABHP - OVERALL LENGTH
- 8.000 INCHES MAXIMUM
- ADAV - OVERALL DIAMETER
- 2.500 INCHES MAXIMUM
- AEUJ - LAMP BASE TYPE ACCOMMODATED
- SINGLE CONTACT MINIATURE FLANGED
- AEVD - LENS COLOR
- COLORLESS
- AEVK - LENS TRANSPARENCY
- TRANSPARENT
- AEVM - LIGHT BEAM MOTION
- FIXED AND FLASHING
- ASXH - VOLTAGE RATING IN VOLTS
- 3.0 DC NOMINAL
- AXGY - MOUNTING METHOD
- RING
- CBBL - FEATURES PROVIDED
- SWITCH AND REPLACEABLE BATTERY
- CRHY - 1 AMP TYPE ACCOMMODATED AND QUANTITY

5. NMCRL – データ登録状況・利用者

※2026年1月現在

NATOカタログ制度への参加国数 : 66か国

NSN (NATO物品番号) 登録数 : 3,740万件

うち有効なNSN:1,795万件

業者登録数 : 280万社

部品収録数 : 4,950万

NMCRL利用者数 : 3,150万ユーザ

※ 各国国防当局に加え、多くの防衛関連企業等民間企業（大手メーカー、ベンダー、部品ブローカー、防衛コンサルタント会社等）もNMCRLを利用している。

6 – 1 NMCRL – 諸外国の産業界における活用例①

SAAB社（新しい市場と顧客の獲得のためのNMCRL）

- ① 自社製品の既存のNSN（NATO物品番号）がどのくらいあるか確認
→ 自社製品がどの国で調達されているのかを把握
- ② 登録されている自社のサプライヤーが取り扱う製品を確認
→ 登録データを利用して自社のサプライチェーン体制が十分に整っていることを新規顧客に対して実証
- ③ 契約ごとに最大10万以上のスペアパーツの類別データを管理
→ 社内での確認・顧客サポート



- 従業員20,000人以上
- 9419.5億円の売上高(2024年)
- 20か国以上で展開
- 2000年前半からNMCRLを利用
- スウェーデン企業

6 – 2 NMCRL – 諸外国の産業界における活用例②

KNDS社 (NMCRLによるプログラム管理)

- ① 類別された物品の割合をプログラム進捗の指標として利用
→例：3,000品目のうち500品目類別＝約15パーセントの進捗を意味
- ② NSNそのものが物品の信頼性を保証
→類別済みでありNSNが付与されているということは、注文や供給の準備が整っていることの証左
- ③ NSNの持つ正確なデータ（参照番号や技術情報等）を利用
→供給者・政府間の齟齬を防ぐ



KNDS

- 従業員10,000人以上
- 6,174億円の売上高(2024年)
- 12か国で展開
- 2000年前半からNMCRLを利用
- 仏独合併企業

6 – 3 NMCRL – 諸外国の産業界における活用例③

MAINTLOG社（中小企業によるNMCRL活用法）

- ① NSN登録情報を追跡することにより、同一の部品に複数のNSNが付与されているというデータ品質の問題を発見し、真の製造者を特定
- ② 同一部品が入手できない際、NSN登録情報により同等品を特定

→NMCRL及び類別の知識を利用することで、製造業者がサービスプロバイダーとして付加価値を提供することにより、競合他社との差別化を図る



- 従業員10～15人の従業員
- 8億円の売上高(2024年)
- フランス国外で40%の売り上げ
- メンテナンスと部品の識別サービスに特化
- フランス企業

7. NMCRLの契約について（プラン別料金／特徴）

● 各プランの特徴

	特 徴
WEB版	<ul style="list-style-type: none"> ● ネット環境が利用可能な場所であればどこでも24時間/365日使用可能 ● 画像（イメージ）の閲覧が可能 ● NSNの比較が可能
オフライン版	<ul style="list-style-type: none"> ● ネット環境がなくても使用可能 ● データのダウンロードが可能
パック(WEB+オフライン)	<ul style="list-style-type: none"> ● WEB版、オフライン版の両方を使用可能

● NMCRLを契約する際の料金（2026年1月現在）

※年間契約

	個 人 用 （ 1 ユーザ ）	小 規 模 団 体 用 （ 5 ユーザ ）	中 規 模 団 体 用 （ 20 ユーザ ）	大 規 模 団 体 用 （ ～100 ユーザ ）
WEB版	1,210€	2,160€	4,150€	12,490€
オフライン版	1,470€	2,430€	4,840€	—
パック(WEB+オフライン)	1,660€	2,770€	5,410€	—

● 申し込み方法

- ・ NSPAのePortalから申し込み
- ・ 14日間の無料トライアルプランあり

8. NCAGE – NATO製造者記号

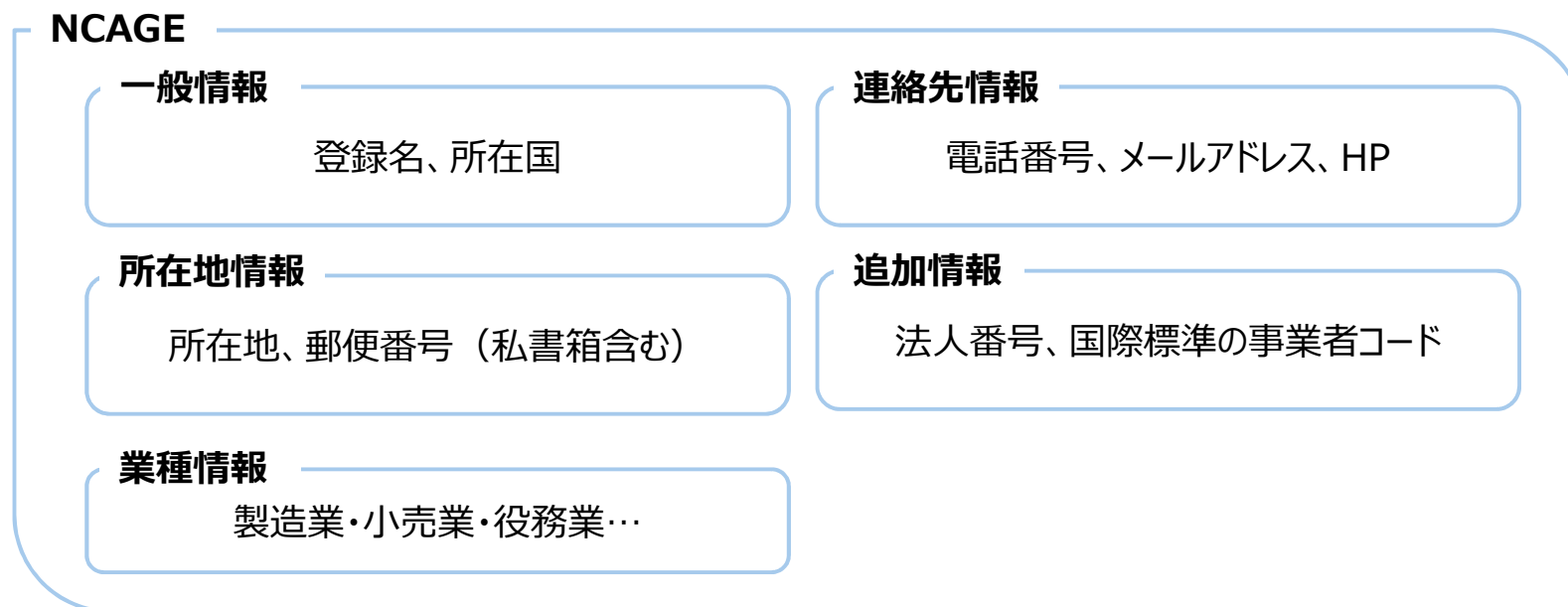
(NATO Commercial and Government Entity)

NCAGEとは

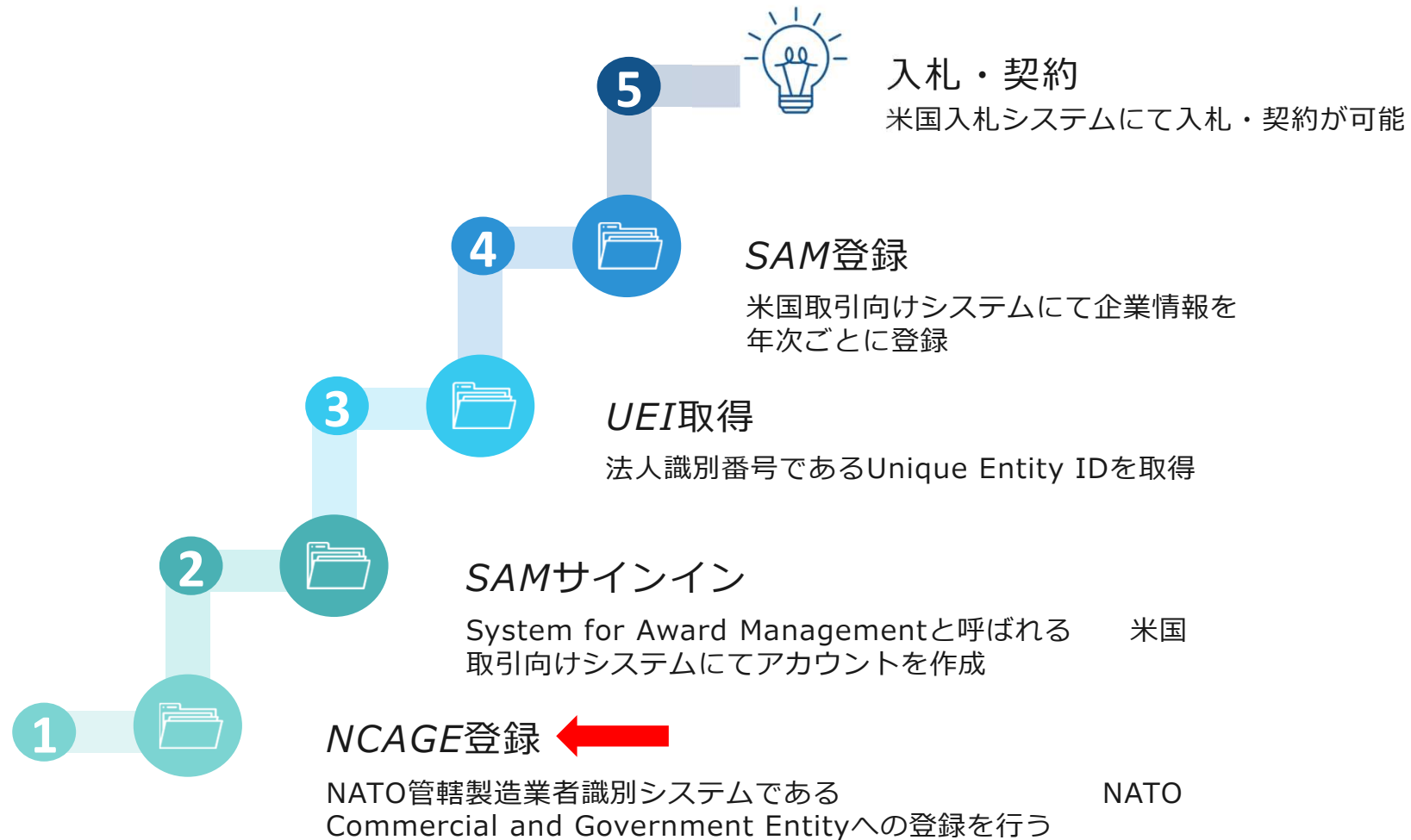
NCAGEコード (NATO Commercial and Government Entity Code) とは、1事業体に対し1つ割り当てられる5桁のコードであり、NATOカタログに登録されている品目情報とともに登録・掲載となる。

NCAGEコードは、NATOカタログ制度のデータベース登録時に必要となるほか、NATO加盟国における防衛関連製品の入札等に参加する際や、米国政府との取引に必要なSAM登録においても必須となる。

含まれる情報



9. NCAGE –【参考】米国との契約に至るまでのステップ





お問い合わせはこちらへ

Japan_ncb@ext.atla.mod.go.jp